・必ずお読みください・

組付作業手順

※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

①「フロントマフラーの仮組付」

・フロントマフラーのブラケットAを純正ラバーステーに通してください。純正マフラー後部フランジ（左）とフロントマフラーのフランジ間に附属ガスケットを使用して、附属ボルト類で仮締付してください。

お願い　吊り下げ用ラバーステーは純正品を再使用してください。

②「センターマフラーの仮組付」

・センターマフラーのブラケットB、C、Dを純正ラバーステーに通してください。純正マフラー後部フランジ（右）とメインマフラーのフラジジ間に附属ガスケットを使用して、附属ボルト類で仮締付してくだい。フロントマフラー後部フランジとセンターマフラーの左側フランジ間に附属ガスケットを使用して、附属ボルト類で仮締付してください。

お願い　吊り下げ用ラバーステーは純正品を再使用してください。

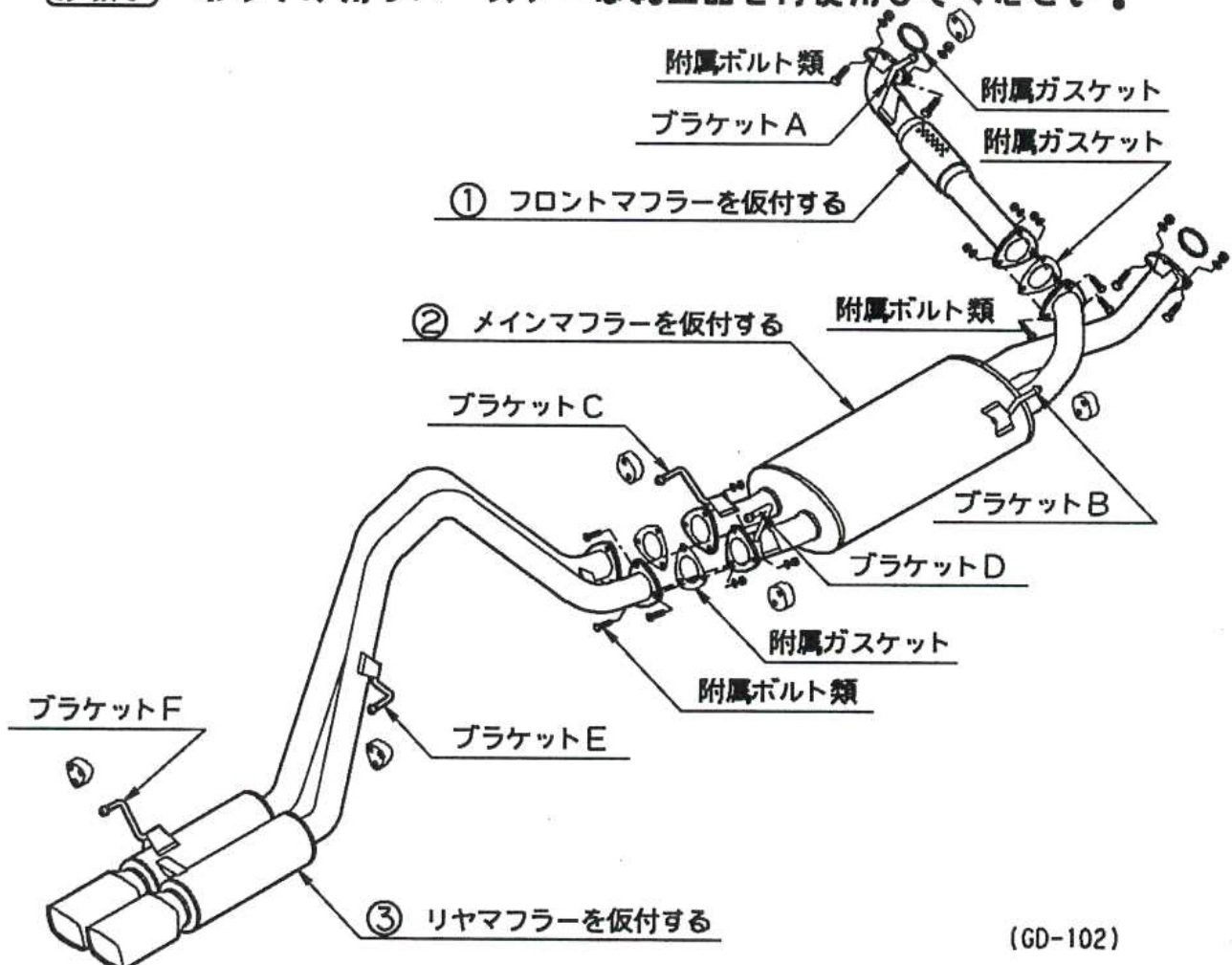
③「リヤマフラーの仮組付」

・リヤマフラーのブラケットE、Fを純正ラバーステーに通してください。センターマフラー後部フランジとリヤマフラーのフランジ間に附属ガスケットを使用して、附属ボルト類で仮締付してください。

お願い　吊り下げ用ラバーステーは純正品を再使用してください。

附属ボルト類
ブラケットA
附属ガスケット
附属ガスケット
① フロントマフラーを仮付する
② メインマフラーを仮付する
附属ボルト類
ブラケットC
ブラケットB
ブラケットD
附属ガスケット
附属ボルト類
ブラケットF
ブラケットE
③ リヤマフラーを仮付する

(GD-102)

・必ずお読みください・

組付作業手順

＊文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

④「全　体　の　本　組　付」

・メインマフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバー、シャーシ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら、仮締付けして有ったボルトとナットを自動車の前側から順に下記の指定トルクで締付けてください。

締付けトルク　M8　24.5~34.3N・m(2.5~3.5Kgf/m)
　　　　　　　M10　39.2~49.0N・m(4.0~5.0Kgf/m)

・テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。不具合が有ったら最初から締め直してください。
・クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合、熱で溶けることが有ります。

⑤「装　着　状　態　の　確　認」

・全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺らして各部のクリアランスを確認してください。
・エンジンを始動して暖機運転し、約2，500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
・試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
・以上の項目に異常が有ったら、面倒でも最初から装着をやり直してください。

以上で弊社マフラーの装着が完了しました。もう一度　本取扱説明書をよく読んで、安全で快適なドライブをお楽しみください。

◇製造・発売元　株式会社　マツ．ショウ
◇所在地　〒340-0002
埼玉県草加市青柳8丁目64番地2号
TEL 048(935)3637 FAX 048(931)2242
◇取扱説明書　番号　GD-102
◇初版作成年月　2005.4